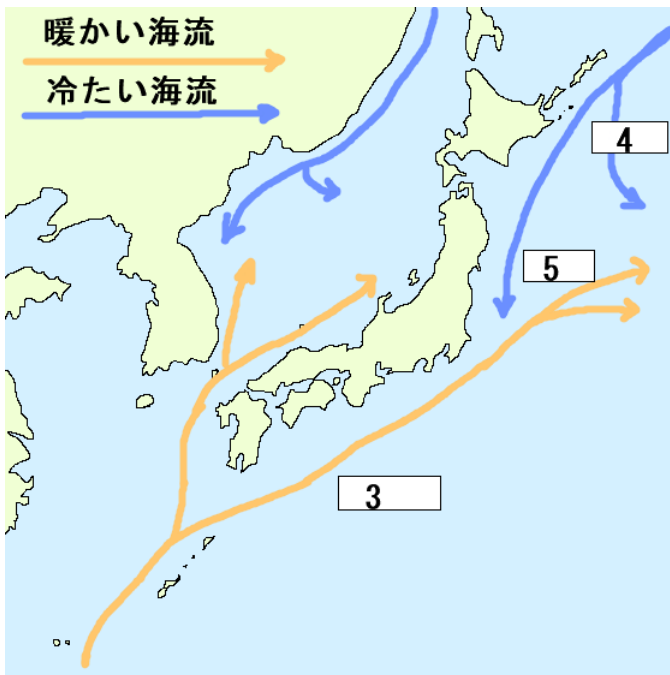


中学地理 日本の気候（解答）

要点チェック（レベル1）

日本は大部分が（1 温帯）の温暖湿潤気候に属し、四季がはっきりしている。（2 季節風）や海流の影響を受け、梅雨があり、台風がよく通るため、降水量が多いのも特徴である。日本の気候は、気温・降水量とその変化によって大きく6つに分けられる。

・日本周辺の海流（3～5に入る語句を答えなさい）



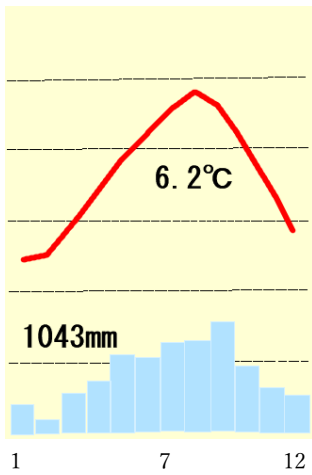
- 3 (日本海流 (黒潮))
- 4 (千島海流 (親潮))
- 5 (潮境)

日本の気候区分の特徴

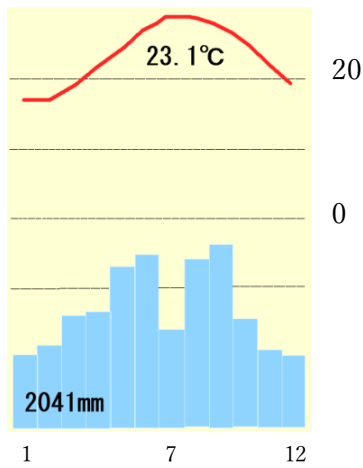
南西諸島の気候	冬の気温が他の地域より（6 高い）（16, 17℃くらい）
北海道の気候	冬の気温が他の地域より（7 低い）（-6℃など）
日本海側の気候	冬の（8 降水量）が多い
太平洋側の気候	冬の（8 降水量）が少なく、夏の（8 降水量）が多い
瀬戸内の気候	年間（8 降水量）が少なく、（9 気温）の変化が太平洋側とほぼ同じ
中央高地の気候	夏と冬の（9 気温）差が、他の地域より大きい

低い、日本海流、千島海流、降水量、温帯、高い、気温、潮目、季節風、

問1 次の2つの雨温図は、南西諸島と北海道のどちらか答えなさい。

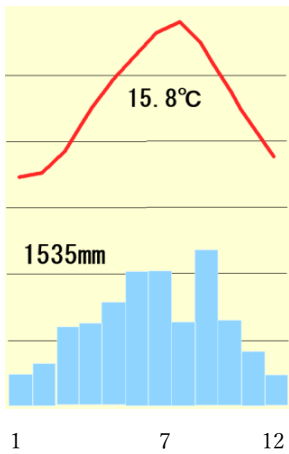


(北海道)

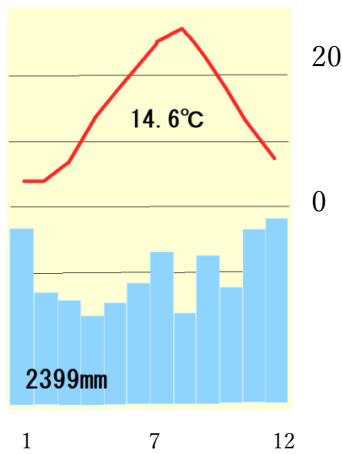


(南西諸島)

問2 次の2つの雨温図は、日本海側と太平洋側のどちらか答えなさい。

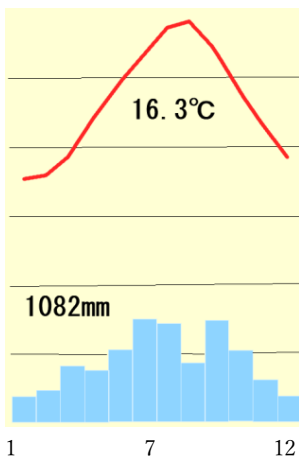


(太平洋側)

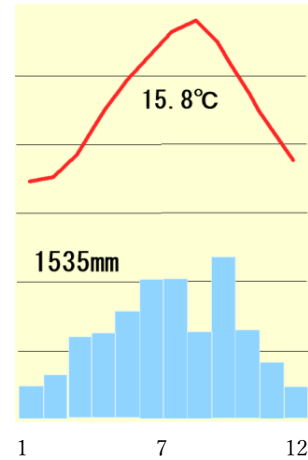


(日本海側)

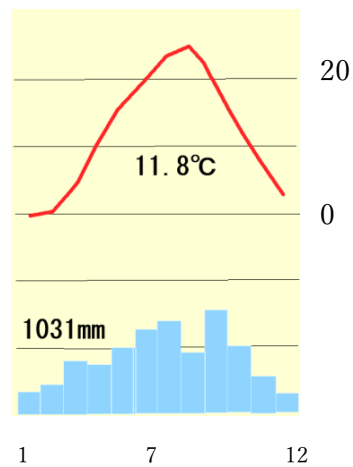
問3 次の3つの雨温図のうち、瀬戸内と中央高地だけを答えなさい。



(瀬戸内)



(太平洋側)

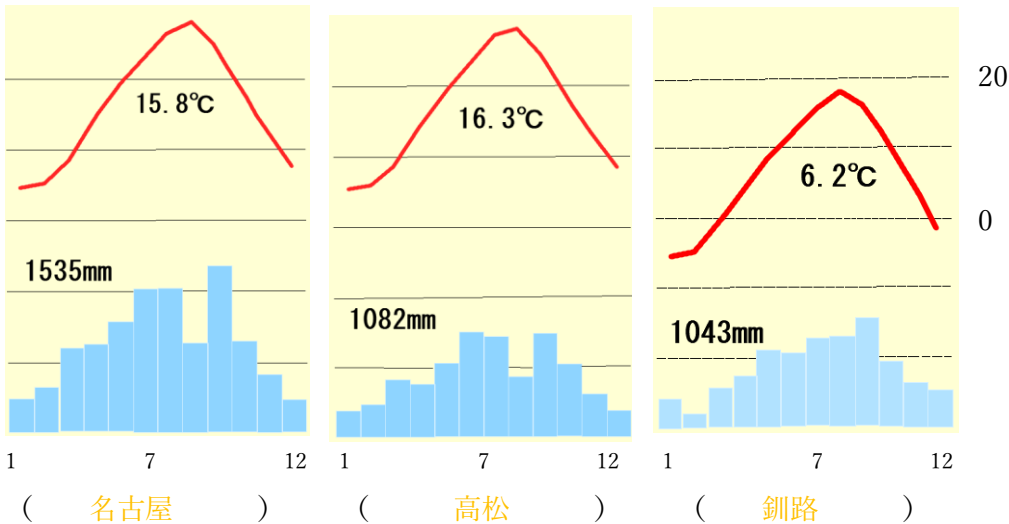
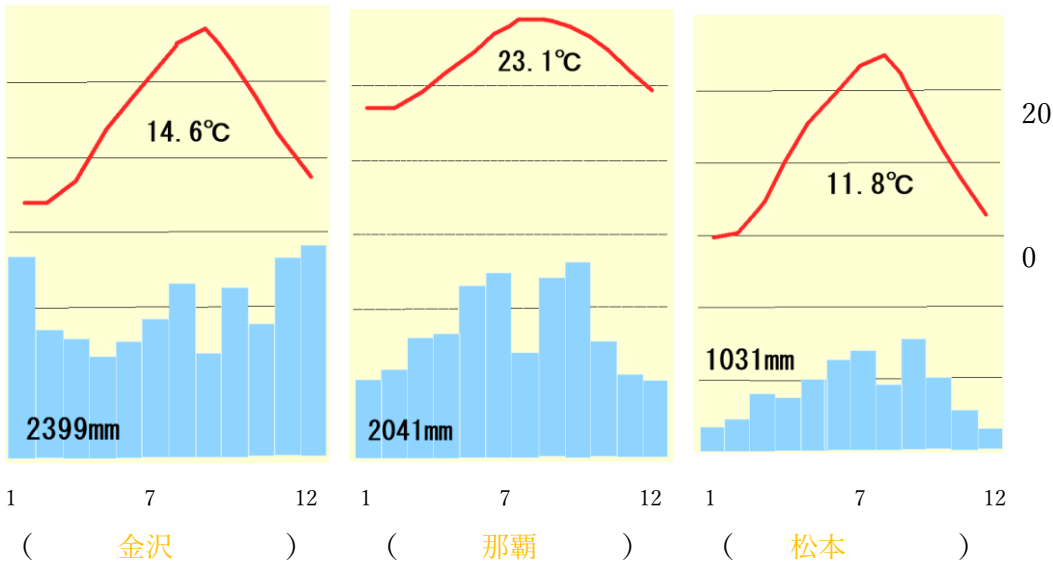


(中央高地)

確認問題

- 問1 夏と冬で吹く向きが大きく変わる風を何というか。
- 問2 冬の1が日本列島に吹く方位と、降水量は太平洋側と日本海側のどちらが多いか、答えなさい。
- 問3 夏の1が日本列島に吹く方位と、降水量は太平洋側と日本海側のどちらが多いか、答えなさい。
- 問4 太平洋側を南から北へ流れる海流（暖流）を何というか。
- 問5 太平洋側を北から南へ流れる海流（寒流）を何というか。
- 問6 暖流と寒流がぶつかり、漁業がさかんな海域を何というか。
- 問7 次の雨温図の指す都市をそれぞれ次の中から選択しなさい。

- 1 季節風（モンスーン）
- 2 北西
日本海側
- 3 南東
太平洋側
- 4 日本海流（黒潮）
- 5 千島海流（親潮）
- 6 潮境



釧路（北海道）、高松（瀬戸内）、金沢（日本海側）、那覇（南西諸島）、名古屋（太平洋側）、松本（中央高地）、

要点チェック (レベル2)

1, 日本の気候

(1 温帯) : 春夏秋冬の四季がある気候

・復習

(2 地中海性気候) : 夏に乾燥する気候。ブドウ、オリーブなどを栽培。ヨーロッパの南西岸海洋性気候 : 暖流と (3 偏西風) の影響で、冬でもあまり寒くならない。ヨーロッパの大半

(4 温暖湿潤気候) : 年間降水量が多い。稲作がさかん。日本のほとんどや中国の長江流域
北海道は (5 冷帯) に属し、南西諸島は 亜熱帯 ともいう。

日本だけの特徴

(6 季節風) : 夏は太平洋から、冬は大陸から吹く風。季節で降水量が変わる。

梅雨 : 6月中旬から約1か月続く長雨。

台風 : 熱帯低気圧のうち最大風速が 17.2m/秒以上のもの。

海流

太平洋側の暖流が (7 黒潮)、太平洋側の寒流が (8 親潮)。この二つがぶつかる場所を (9 潮境) という。

2, 自然災害

・ (10 地震) と津波 : プレートや活断層のひずみで発生。

・噴火、地すべり、山くずれ、など。

・気象による災害 : 梅雨や台風などの風水害、冷害 (東北地方で夏に (11 やませ) が吹くと気温が上がらず、米の収穫量が減る)、干害 (水不足で農作物が育たない)

(12 防災マップ) : 起こりやすい自然災害や避難場所を示した地図。

やませ、季節風、地震、親潮、黒潮、偏西風、温暖湿潤気候、地中海性気候、冷帯、温帯、潮境、防災マップ、

問、次の都市は日本の気候区分において、どこに属するか答えなさい。



- ①名古屋 (太平洋側)
- ②松本 (中央高地)
- ③金沢 (日本海側)
- ④高松 (瀬戸内)